

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2022. 8. 4.
NO. 89
全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

全国学童保育部会総会

コロナ禍は予断を許さない状況です。今年の部会総会は、対面とZOOMによる開催とします。

日時：9月18日（日）午後1時～
19日（月・祝）12時
場所：中央本部会議室（新宿区百人町4-7-2）
宿泊：ホテルグランドシティ池袋

*申込締め切り 9月9日（金）

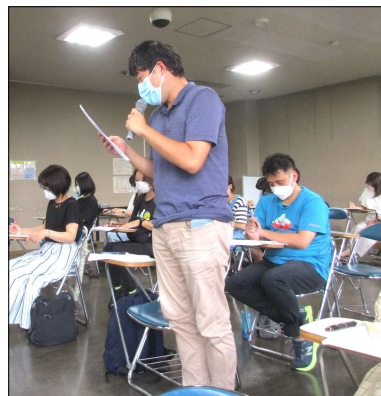
*ZOOMの案内は、後日送ります。

指導員の増員を望む、名古屋市の声

残される現場の課題

愛知学童保育支部は、7月10日、名古屋市に対して来年度の予算要求について話し合いを行いました。

コロナ禍により、執行委員、分会代表者など人数を40人に絞ったの要請となりました。
名古屋市は地域運営委員会助成方式です。これまで、新しい学童保育所を作る場合、必ず新たな



職員の増員を発言する分会員。

「など、子どもを受け止める保育ができるように準備時間が必要であることを訴えました。」
また、「重度の食物アレルギーの子どもがいて、もし間違いがあれば命に関わる。専門的な調理員を配置できる予算を組んでほしい」など、増員の要求をしてみました。

「しかし、学区内に貸し出せる土地がない。今、学区外まで広げて探している現状だ。」「狭いところに入所の申込がたくさんあり、入所制限も検討した。しかし、どの子にも保育が必要。今の施設にトイレが一つ、子ども同士でトイレの順番を譲り合うが、ガマンできずに泣き出してしまいうこともあった。」

土地、施設の確保が大変

運営委員会を発足しなければいけなかったのですが、同一敷地内または同一学区であれば、既存の運営委員会で実施できるようになりました。
それでも、現場の困難さはなくなりません。午前中の準備時間の予算化では
「記録作成、打合せ、保護者に子どもの様子を伝えるお便りなどやることは山ほどある」「学校から抜け出して学童に来る子がいる。こうした子どものケアやその姿をどう見るのかを話し合ったり、その家庭への支援も必要

名古屋で学童保育所を作る場合、当該の保護者たちが学童のための土地や借家を探して、見つかれば市がプレハブ施設を建てる、あるいは借家の補助金を出すという仕組みです。
そのため、地主や家主から退去の要請がされ、学童が移転をせざるを得ないケースもたくさんあります。
組合員から「2年前に地主から退去要請があっ

た。しかし、学区内に貸し出せる土地がない。今、学区外まで広げて探している現状だ。」「狭いところに入所の申込がたくさんあり、入所制限も検討した。しかし、どの子にも保育が必要。今の施設にトイレが一つ、子ども同士でトイレの順番を譲り合うが、ガマンできずに泣き出してしまいうこともあった。」
など、施設、設備についての実態発言が続きました。

市側は、「現場の声を聞かせてもらった。市単独で解決できる話ではないものもあり、国の方にも充実を求めていきたい。施設については、市からも物件募集している。今日いただいた声を踏まえ、検討していきたい。」と、話がされました。
基準や指針ができて大変な実態がなかなか解決しないことに憤りを覚えます。

（愛知 田村一志）